

かけがわ中学生議会

あしたをひらく
こころゆたかな
街づくり。



平成 29 年 8 月 3 日 (木)

掛川市議会議場

目 次

- 1 かけがわ中学生議会の取り組み 1～ 2
○学 習 会（7月10日）
○リハーサル（7月20日）
- 2 中学生議員発言順序、質問項目 3
- 3 中学生議員からの質問要旨 4～21

かけがわ中学生議会の取り組み

1 議員選出及び質問書の提出

各中学校から男女1人ずつを選出し、中学生議員が所属する学校や学級の意見を集約した内容を基本としながら、中学生議員の自由な発想や視点から捉えた意見、提案として質問書を作成していただきました。

また、なるべく社会科や総合的な学習の時間の授業と関連づけて質問を考えるなど、代表の生徒だけでなく、多くの生徒が議会に関心を持つ機会となるよう、各学校に配慮していただきました。

2 学習会 平成29年7月10日（月） 15時から16時35分 議場

かけがわ中学生議会は、「主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成する。」ことを目的としていることから、市議会議員全員に役割を担ってもらい、議会および議員をより身近に感じてもらうように実施しました。

○ 主な学習会の内容

ア 証書付与式

- ・鈴木正治市議会議長から1人ずつ任命証書を付与し、議員としての自覚を認識してもらいました。

イ 議会の仕組みについて

- ・野口安男議会運営委員長が講師となり、市民と市長と議会の関係についての説明や、議会活動には、定期的開催される定例会と必要に応じて開催される臨時会があること、掛川市は3つの常任委員会があり、それぞれ管轄する部署の議案を審査すること、市の方針や事業の効果など、市民生活に関わる内容を問いたすために一般質問があること等について学びました。

ウ 正副議長室等の見学

- ・市議会議員が普段どのような場所で会議等を行っているのか、正副議長室、委員会室、全員協議会室、会派室などを見学しました。

エ 一般質問通告要旨の相談

- ・市議会議員5人が相談役となり、中学生議員に対し、どのように質問したら答弁を上手に引き出せるのかなど、一般質問を行う上でのアドバイスをしました。

〔相談役：鷲山議員、二村議員、窪野議員、松本議員、山本裕議員〕

オ 宣言文の確認

- ・市民の一員として自覚を持った行動力が必要と考え、各中学校から事前に宣言文を募り、松本文教厚生委員長と榛村文教厚生副委員長を中心に、類似表現を整理しながら、宣言文（案）をまとめました。

学習会の様子

〈 内 容 〉

- (1) 議長、教育長挨拶
- (2) 市議会議員紹介
- (3) 中学生議員自己紹介
- (4) 証書付与式
- (5) 中学生議会議長、副議長の選出
- (6) 議席の抽選
- (7) 議会の仕組み説明
- (8) 一般質問通告要旨の相談及び
正副議長室等の見学
- (9) 宣言文の確認
- (10) 副議長挨拶



一人ひとりに任命証書を付与



中学生議会議長の選出（抽選）



議席の抽選



委員会室等の見学



一般質問のアドバイスを受ける中学生議員

3 リハーサル 平成29年7月20日（木） 15時30分から17時05分 議場

8月3日の本番に向け、入退場の方法、一般質問の発言の仕方、採決の仕方、正副議長のシナリオの確認等、本番を想定したリハーサルを行いました。

一 般 質 問 発 言 順 序

発言順	中学校名	中学生議員氏名	質 問 項 目
1	北中学校	河原崎 駿 君 松永 凜果 さん	掛川市の魅力の向上について
2	栄川中学校	鈴木 愁 君 小泉香菜枝 さん	掛川市の人口減少問題と誰もが住みやすい街づくりについて
3	東中学校	片桐 隆我 君 瀧澤 晴菜 さん	掛川市内小中学校の教育環境の向上について
4	原野谷中学校	齋木 大地 君 石川 鈴菜 さん	原野谷中学校の校舎建て替えについて 小中一貫教育について
5	西中学校	小出 翔大 君 大長みなみ さん	学校給食の食器について 市の観光客増加をめざして 選挙投票率について
6	大須賀中学校	浦山 拓実 君 太田 絢寧 さん	地域の活性化について
7	桜が丘中学校	高橋 駿介 君 土屋日南子 さん	安全で安心して学習できる学習環境づくりについて 安全で安心して通学できる環境整備について
8	大浜中学校	大石 清地 君 中村 日和 さん	人口減少と地震・津波について
9	城東中学校	草間 一陽 君 岡部 彩乃 さん	城東中学校区の今後について

〈学校名：北中学校〉

議席番号	1	氏名	河原崎駿・松永凜果	質問の方式（一問一答・ <input type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	--

質問項目 掛川市の魅力の向上について

（答弁：市長）

私たちは、掛川市は住みやすくとても良い市であると思っている。例えば、高速道路のアクセスのよさや新幹線駅などに代表される交通の便がよいこと。また、掛川城や花鳥園、温泉施設などの観光施設が充実していること。さらに、お茶やイチゴなど特産品があることなどが、魅力だと感じている。そこで、さらに掛川市の魅力を高めるために私たちが考えた施策について、市長の考えを伺う。

- (1) 原泉地区の「ならここの里」で葛を栽培して葛粉を特産品にすることで、お茶に続くかけがわの特産品になるのではないかと考えるが、市長の考えはいかがか
- (2) 音響設備の整ったコンサートホールと、そこを拠点として活動する楽団や財団の育成・支援をすることで、文化的な質が向上すると考えるが、市長の考えはいかがか
- (3) 「つま恋」や「エコパ」といった大型施設との連携やイベントの共同開催をすることで、市外から多くの人を訪れると考えるが、市長の考えはいかがか

【回答の骨子】

- (1) 葛の効率的な栽培方法や葛粉を使用した菓子の特産品化を研究しています。
- (2) 市民合唱団や市民劇団が立ち上がるなど市民の文化活動を支援しています。
- (3) ラグビーワールドカップやオリンピック等を活用・連携していきます。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 葛の栽培や製品化



高校生による圃場への定植

葛苧（葛布の原料）



葛布製品



コースター



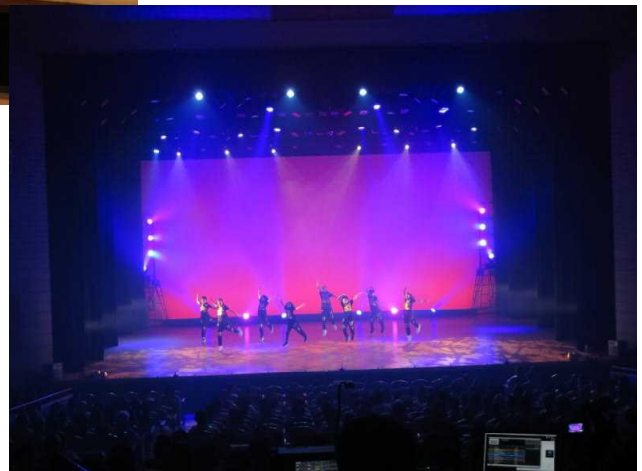
ペンケース

(2) 市民合唱団と市民ダンス劇団



市民合唱団「KaKegawaシティコーラス」

市民ダンス劇団「劇団わたげ」



(3) ラグビーワールドカップ

別添資料：クリアファイル、チラシ、缶バッジ

〈学校名：栄川中学校〉

議席番号	2	氏名	鈴木愁・小泉香奈枝	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問項目 掛川市の人口減少問題と誰もが住みやすい街づくりについて

（答弁：市長）

私たちは、八坂地区・日坂地区に住んでいる。八坂地区では、お祭りの時期になると、青年や子どもが来て地区が賑わうが、実際に住んでいる人は少ない。そのため、地区の総会では青年の意見も少なく、若い世代が活躍したり、やりたいと思ったりするようなイベントも少ない。また、日坂地区には高齢者が多く住んでいるが、最近全国的にも話題となる高齢者の運転免許返納施策が進められると、高齢者の生活が不便になることが予想される。これらのように、若い世代や高齢者が住みやすい街づくりに課題を感じている。そこで、市長の考えを伺う。

- (1) 若い人を掛川市郊外に増やすために、どのような施策を計画しているか
- (2) 若い人も高齢者も含めて、多くの人注目するイベントなど計画しているか
- (3) 路線バスは本数が少なく、中東遠医療センターに行くのでさえ、乗換えが必要であり不便を感じている高齢者がいるが、自動車以外の交通手段がない人の移動手段の確保について、どのように考えているか

//////
【回答の骨子】

- (1) 移住体験ツアーや空き家制度、若い世代へのPRなどを行っています。
- (2) 掛川市内では、年間約130回のイベントを開催しています。
- (3) バス運行は赤字が大きく、福祉バスなど他の移動手段も検討しています。

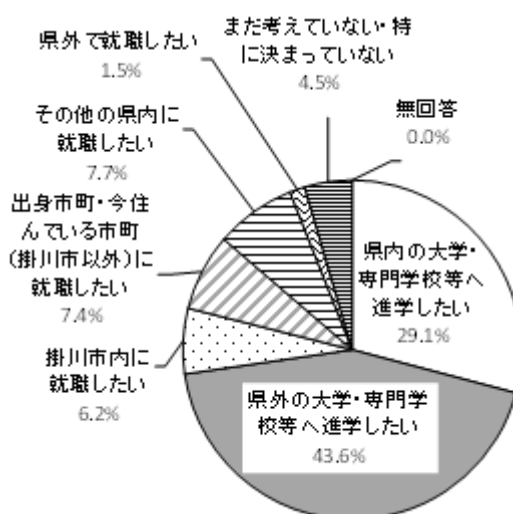
～メモ～

回 答 資 料

(1) 高校生意識調査の結果

問3-① あなたは、高校卒業後の進路等をどのように考えていますか。

選択肢	回答数	構成比
(1) 県内の大学・専門学校等へ進学したい	257	29.1%
(2) 県外の大学・専門学校等へ進学したい	385	43.6%
(3) 掛川市内に就職したい	55	6.2%
(4) 出身市町・今住んでいる市町(掛川市以外)に就職したい	65	7.4%
(5) その他の県内に就職したい	68	7.7%
(6) 県外で就職したい	13	1.5%
(7) まだ考えていない・特に決まっていない	40	4.5%
計	883	100.0%



(2) イベント



現代アートイベント

「GAW (ガウ) 展」の様子

※ 過去5年間の川坂屋入館者数

平成24年度	2,768人
平成25年度	2,725人
平成26年度	3,192人
平成27年度	3,604人
平成28年度	7,265人

○ 別添資料：「茶エンナーレ」リーフレット

(3) バスの利用状況

路線名	単位：人			単位：円	
	27年度 利用者数	27年度 一日平均	27年度 一便平均	27年度 赤字額	掛川市負担額
東山線	34,055	93.3	6.1	△ 15,059,739	15,059,739
粟本線	40,419	110.7	5.4	△ 7,587,045	7,587,045
居尻線	30,999	84.9	5.8	△ 24,209,046	24,209,046
倉真線	15,347	42.0	2.6	△ 10,229,536	10,229,536
桜木線	7,642	20.9	1.5	△ 10,977,574	10,977,574
循環バス 北回り	101,622	278.4	16.4	△ 29,965,178	29,965,178
循環バス 南回り	75,379	206.5	12.1	△ 15,647,938	15,647,938
満水線	7,401	20.3	2.5	△ 5,355,138	5,355,138
掛川大東浜岡線	254,912	698.4	—	△ 72,556,029	27,635,412
秋葉中遠線	356,945	977.9	—	△ 40,114,000	7,067,000

〈学校名：東中学校〉

議席番号	3	氏名	片桐隆我・瀧澤晴菜	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問項目 掛川市内小中学校の教育環境の向上について

(答弁：市長・教育長)

市長は、戦略目標に教育日本一を掲げていますが、教育には良い環境が必要だと私たちは考えます。さらに、そのよい環境で育った若者が、学校の外でも活躍し、街の賑わいの演出に貢献できることも、広い意味における教育日本一にとって重要であると考えます。

そこで、中高生が持っている資質や能力を高め、その高めた力を街づくりにいかしていくことができる施策について、考えを伺う。

- (1) 広報かけがわ6月号では、英語力の向上と海外で活躍できる人材の育成が目標として掲げられていましたが、具体的にどのような取り組みをするのか
- (2) 東中学校では、学び合いが重点目標になっており、タブレット端末や今よりもっと大きなテレビモニターを導入してもらえると、将来海外でも活躍できるような議論を活発に行える力が身につくと考えるが、いかがか
- (3) 東中学校では、納涼祭や光のオブジェ展など、学校で身につけた能力を発揮する場として、地域のイベントにも積極的に参加しているが、中高生が中心市街地の活性化に積極的に参加できるイベントを他に考えているか

【回答の骨子】

- (1) ALT派遣や英語体験活動、姉妹都市友好訪問団派遣などを行っています。
- (2) パソコン室のタブレット化やプログラミング教育などを推進しています。
- (3) 新たな計画はなく、既存のイベントや施設を活用した企画提案を期待します。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 英語体験学習

○英語体験活動とは

- ・掛川の子どもたちが、掛川市語学指導助手（ALT）と共に、様々な英語での活動を行い、英語コミュニケーションの楽しさを体感することを通して、グローバルな夢や希望を持ち、世界に羽ばたいていこうとする心情を育むことをねらいとした事業

○英語体験活動の様子



ダイナマイトクイズラリー



クラッシュジャンケン

(2) 「掛川市教育情報化推進基本計画」（平成27年3月策定）の概要

○計画期間 平成27年度から平成31年度までの5年間

○コンピュータ教室の機器更新について

- ・普通教室でも活用できるように可動式タブレット端末とする
- ・先進的なICTの技術を日常の授業に活かせるようにする
- ・計画期間内に小中学校のコンピュータ教室をタブレット化する

(3) 中心市街地活性化のためのイベント



光のオブジェ展



友引カフェ

〈学校名：原野谷中学校〉

議席番号	4	氏名	齋木大地・石川鈴菜	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問事項1. 原野谷中学校の校舎建て替えについて

(答弁：教育長)

- (1) 本校では、毎日無言清掃を行っています。清掃中は、ほとんど声を発することは無く、全校生徒が任された分担場所をよりきれいにしようと取り組んでいます。また、長期休業中には、環境委員会が中心となり、教室や特別教室のワックス塗りも実施しています。しかし、大雨の後など雨漏りがしてバケツや雑巾をその場所に置いておく状況です。本校の校舎は、掛川市内で一番古いと聞きました。お金の問題が大きいと思いますが、いつ頃建て替えをしてくださるのかをお聞きしたいと思います。

質問事項2. 小中一貫教育について

(答弁：教育長)

- (1) 本校では、今年度より小中一貫教育の指定を受けました。本校は116名の生徒数で小さな学校です。小学生も一緒の場所にいれば、お互いに活動の様子などもわかるという利点があると思います。また、人数も増えて今まで以上に活気が出てくるようにも思います。そして、世間で言われている中一ギャップも少なくなるのではないかと考えます。将来的には、私たちの中学校の場所に小中の校舎が立てられ、一緒に学ぶということになるのでしょうか。それはいつ頃と考えているのかをお聞きしたいと思います。

【回答の骨子】

- (1) 校舎建築計画が定まるまでは、老朽化対策を図っていきます。
(2) 小中一貫教育の研究の中で学校のあり方を皆さんと一緒に考えていきます。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 校舎の老朽化の状況

区域	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
					低	高
掛川	栄川中学校	校舎	3,255	S54	54.2	
		体育館	1,148	S54	47.5	
		その他	226	S54	60.5	
掛川	東中学校	校舎	5,436	S44	67.6	
		体育館	1,400	H17	17.1	
		その他	274	S45	53.1	
掛川	西中学校	校舎	5,451	S43	69.2	
		体育館	1,401	H18	15.3	
		その他	640	S43	57.2	
掛川	桜が丘中学校	校舎	4,846	S56	52.9	
		体育館	1,406	H20	11.9	
		その他	253	S56	36.7	
掛川	原野谷中学校	校舎	3,174	S36	76.5	
		体育館	1,308	H22	8.6	
		その他	253	S62	33.9	
掛川	北中学校	校舎	7,316	H1	30.3	
		体育館	1,440	H22	8.6	
		その他	232	S50	78.3	
大東	城東中学校	校舎	4,422	S49	60.7	
		体育館	1,131	S51	59.1	
		その他	394	S49	81.6	
大東	大浜中学校	校舎	5,381	S38	60.8	
		体育館	2,595	S53	47.6	
		その他	993	S37	57.6	
大須賀	大須賀中学校	校舎	5,824	H14	20.8	
		体育館	2,391	S63	24.9	
		その他	1,036	H4	21.7	

(出典) 掛川市公共施設等総合管理計画

(2) 小中一貫教育とは

ア 掛川市が目指す子どもたちの姿

「教育大綱かけがわ」では、子どもたちの未来のために何をすべきか、何ができるのか、という視点に立って、五つの目指す子どもたちの姿を定めています。

- ◇変化の激しい社会で生き抜く力を備えているひと
- ◇多様な人々を結び、地域でもグローバルにも活躍できるひと
- ◇高い目標を持ち、新たな価値の創造にチャレンジするひと
- ◇自律する心を持ち、他者の考えや痛みに共感できるひと
- ◇豊かな心や健やかな体に高めていくひと

イ 小中一貫教育のねらい

「教育大綱かけがわ」における目指す姿の実現に向けて、中学校区学園化構想を生かしながら、各学園が地域と共に目指す子ども像を設定・共有し、その実現を図るため、9年間を見通したかけがわ型の小中一貫カリキュラムを編成して、それに基づいて行う系統性のある教育を推進します。

〈学校名：西中学校〉

議席番号	5	氏名	小出翔大、大長みなみ	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	------------	---

質問事項1. 学校給食の食器について

(答弁：教育長)

私たちの通う中学校では給食の食器に陶器が使われています。安全性や割れた時の処理、費用などを考えるとプラスチックの食器の方が良いのではないかと考えました。なぜ掛川市の中学校は陶器を使うのかについて考えを伺いたいです。

質問事項2. 市の観光客増加をめざして

(答弁：市長)

最近、大河ドラマなどの影響で観光客が増加している掛川市だが、さらに観光客を増加させるために、我々中学生のような市民の力をどう使うか、またどの場所をどのように活用するかを伺いたいです。

質問事項3. 選挙投票率について

(答弁：市長)

2016年から18歳以上の選挙権が認められました。私たち中学生ももうすぐ選挙に参加できるということで、楽しみにしている人や興味を持っている人も多いです。しかし、選挙の投票率はなかなか上がっていません。市はこの現状に対して、どのような対策を今後とっていくか伺いたいです。

【回答の骨子】

- (1) 家庭と同様でなじみがあること、ものの大切さを知ってもらうため。
- (2) 観光専門部署の新設、観光施設との連携による魅力発信などを行っています。
- (3) 高校での出前講座、新有権者へバースデーカード発送などを行っています。

～メモ～

(1) 給食文化苑こようの丘の強化磁器

Re-OGISOは「業界一」割れにくい磁器食器です。

Re-OGISOと通常の強化磁器との強度の違い

強化磁器は、製品曲げ強度が150MPa以上とされています。(セラミック協会規格参照)
Re-OGISOは、それをはるかに上回る230MPaです。
これは、使用している素材の強さが通常の強化磁器とは全く違うということです。

曲げ強度測定法

曲げ強度は、使用している土の強さを測る試験です。

$$\sigma(\text{曲げ強度}) = \frac{3 \times P(\text{破断荷重}) \times L(\text{支点間距離})}{2 \times w(\text{試験片幅}) \times t(\text{試験片厚み})^2}$$

※強度は生地厚みの2乗に比例するため、生地が薄いと(軽くなると)割れやすくなることが推測されます

業界最高峰の強度数値

230 MPa以上
220MPa
150MPa
90MPa
50MPa

おぎそ製 Re-OSIGO
一般的な強度数値強化磁器
一般磁器 (ホテル・レストラン用)
陶器 (家庭用)

(2) 観光イベント



NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」のゆかりの地として、トークイベントを開催

(3) 平成28年度参議院議員選挙における年代別投票率

	男	女	計
10代	43.44	49.24	46.32
20代	40.08	42.68	41.31
30代	50.06	50.90	50.46
40代	58.01	60.67	59.27
50代	69.82	69.53	69.67
60代	76.24	74.96	75.62
70代	79.75	72.82	76.09
80代以上	62.62	41.76	49.31
全体	62.15	59.98	61.06

〈学校名：大須賀中学校〉

議席番号	6	氏名	浦山拓実・太田絢寧	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問項目 地域の活性化について

（答弁：市長）

現在、横須賀では、高齢化が問題になっている。これまで地域の伝統を引き継いできてくれた年配の方々が住みやすく、かつ伝統である祭りなどを後世に伝えていくために、掛川市ではどのような対策をしていくか、同様の課題を抱えている他の地域も含めた市全体への取り組みについて伺う。

- (1) 横須賀なら祭りやちっちゃな文化展などの観光資源があり、また、掛川市内の他の地域でもいろんな観光資源があるが、それらの魅力をどう発信しているのか伺う
- (2) 大須賀地区から掛川駅への直通バスが出ているが、高校生専用となっている。子どもからお年寄りの方まで、誰でも利用できるバスにすれば、利用が増えると思うが、どのように考えているのか伺う
- (3) 「生活困窮」「ひきこもり」「認知症」など、新たな福祉課題の対応はどのように考えているのか伺う

【回答の骨子】

- (1) パンフレットやホームページ、SNSなどを活用し情報発信しています。
- (2) 利用しやすいバスの運行について地域の皆さんと一緒に考えていきます。
- (3) 「ふくしあ」にいる専門職員が個人の状況に応じた対応をしています。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 観光情報の発信



インスタグラム



フェイスブック



駅構内の観光案内所

(2) 公共交通

○大須賀バス路線の利用状況

※平成29年度は4月～6月の3ヵ月間

	平成28年度 実績	平成29年度 実績
利 用 者 数	5,106人	2,095人
1日あたり平均利用者数	21.2人	35.5人

○ デマンド型乗合タクシーとは

交通手段に不便をきたしている方に対するサービスで、ドア・ツー・ドアの送迎を行うタクシーに準じた利便性と乗合・低料金というバスに準じた特徴を備えた移動サービス

(3) 「ふくしあ」の概念図



○別添資料：「認知症ケアパス」冊子

〈学校名：桜が丘中学校〉

議席番号	7	氏名	高橋駿介・土屋日南子	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	------------	---

質問事項1. 安全で安心して学習できる学習環境づくりについて

(答弁：教育長)

私たちは、毎日一生懸命勉強をしているが、夏の暑い日はどうしようもないほど暑く、勉強に集中できない。そこで、窓を開けるが、風が強くてプリントが飛んだり、蜂などの危険な虫が入ってきたり勉強に集中できなくなる。安心して学習できる対策について教育長の考えを伺う。

(1) 学校に空調を整備してもらえないか

質問事項2. 安全で安心して通学できる環境整備について

(答弁：市長)

学校に通う道路は、信号機が整備されるなど、改善されてきているが、再来年度には車椅子で登校する生徒の入学も予定されており、まだまだ安心して学校に通える環境とは言い切れない。そこで、私たちが毎日安心して通学できるような取り組みについて、市長の考えを伺う。

(1) 安心して登下校できる道路の整備を進めてもらえないか

【回答の骨子】

- (1) 整備する方針はありませんが、快適に過ごせるように工夫しています。
- (2) 通学路の点検結果に基づき、優先順位を付けて整備を進めています。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 学校施設の暑さ対策

扇風機設置例



ミスト設置例



(2) 通学路の安全対策

種 別	歩 道	グリーンベルト
内 容	<p>歩道とは、歩行者が通行するために、縁石や柵等の工作物により区画して設けられた道路の部分を行います。近年では、水たまりができないように透水性舗装を施工して、歩行者がより安全に通行できる対策をしています。</p>	<p>グリーンベルトは、歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色したところをいいます。これは、ドライバーが車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるようにして交通事故を防止することを目的として設置します。歩車道が区分されていない道路において、交通事故防止を図るため、よく用いられている対策です。</p>
事 例	<div data-bbox="311 1243 837 1624"> <p>下垂木 地内</p> </div> <div data-bbox="311 1646 837 2027"> <p>各和 地内</p> </div>	<div data-bbox="885 1243 1412 1624"> <p>富部 地内</p> </div> <div data-bbox="885 1646 1412 2027"> <p>家代 地内</p> </div>

〈学校名：大浜中学校〉

議席番号	8	氏名	大石清地・中村日和	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問項目 人口減少と地震・津波について

(答弁：市長)

国立社会保障・人口問題研究所が発表した掛川市の将来推計人口によると、掛川市は、今後人口減少と少子高齢化の一途をたどることが予測されている。このような状況で市長の今後の人口問題に対する長期的な展望を伺う。

- (1) 2040年の将来人口目標を12万人に設定しているが、その年齢構成の推計を伺う
- (2) 「教育・文化」「健康・子育て」「環境」の3つ戦略目標に掲げ、人口の転入超過を期待しているが、具体的にどのような状態になれば日本一といえるのか、根拠を伺う
- (3) 転出の一因として大地震発生時の津波被害が予想されていることが考えられ、市は「津波発生時における津波避難施設の使用に関する協定」など進めているようだが、現状として津波避難施設は充足しているのか

【回答の骨子】

- (1) 国の研究機関の推計より、バランスのよい年齢構成を目指しています。
- (2) 3つの日本一のそれぞれに成果を図る基準を設定しています。
- (3) 避難タワーや命山などを有効に活用すれば全ての市民が避難できます。

～メモ～

(1) 掛川市の将来人口推計



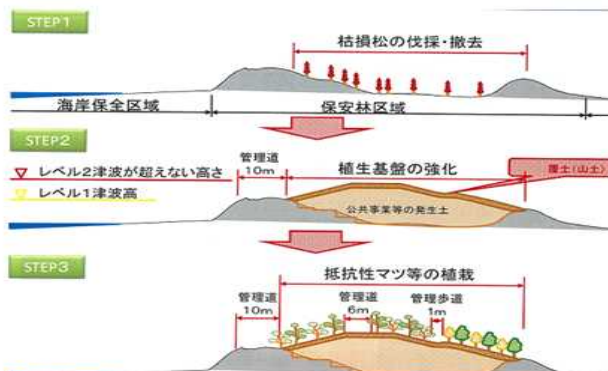
(2) 3つの日本一

戦略目標 戦略目標の3分野について日本一を目指すために、指標を設定します。

	指 標	現状値	中間目標(H31年度)	最終目標(H37年度)
教育・文化	子どもが健全に成長していると思う市民の割合	89.9% (H27)	75%	80%
	画学校支援ボランティアの延べ人数	72,732人 (H28)	80,000人	100,000人
	地域行事に参加した小中学生の割合(3か年平均)	87.5% (H27)	88.5%	90%
	全国学力・学習状況調査において、平均正答率が全国平均を上回った教科の割合(3か年平均)	79% (H27)	88%	88%
	1年間に文化芸術の鑑賞を鑑賞した市民の割合	45.3% (H27)	60%	70%
	1年間に文化芸術活動をした市民の割合	17.7% (H27)	25%	30%
健康・子育て	65歳以上で要介護1以下のお年寄り市民の人数(割合*)	26,025人 (80.6%) (H25)	29,000人 (92%)	31,000人 (94%)
	健康で生きがいを持って暮らしていると思う市民の割合	65.0% (H27)	70%	80%
	人口千人当たりの出生数**	8.71人 (H28)	9.40人	9.44人
	安心して子どもを産み育てられると思う市民の割合	45.6% (H27)	65%	80%
環境	子育て環境整備に満足している市民の割合	28.8% (H25)	45%	60%
	掛川市は住みやすいところだと思う市民の割合	76.4% (H27)	85% (H31年度)	85% (H37年度)
	今後も掛川市に住みたいと思う市民の割合	77.7% (H27)	85%	85%
	人口の社会移動	転出超過298人 (H28)	転入超過	転入超過50人 (H32年度)
	人と人が積極し助け合っていると思う市民の割合	64.0% (H27)	65%	75%
市内事業所従業員数	57,824人 (H28)	平成26年数値を維持	(H31年度)	
市内親生簿額(名目)	5,606億円 (H28)		6,700億円 (H41年度)	

(3) 避難施設

協働による海岸防災林の強化(掛川潮騒の杜)



津波避難施設の特徴

- 避難スペースの照明は太陽光発電でおこなう。
- コンクリートなので、鋼製と比較してメンテナンスが軽減できる。
- 大きな空間なので、漂流物が通り抜けやすい。
- 大きな空間が取れるので、朝市や駐車場スペースにも利用出来る。

この施設は、柱や梁がPCaPC製なので「筋交い」が無くても、また見た目に強い感じでも十分な強度があります。この施設の階段は、人を両側で抱えてのぼれるように広く幅をとっています。

〈学校名：城東中学校〉

議席番号	9	氏名	草間一陽・岡部彩乃	質問の方式（一問一答・ <input checked="" type="checkbox"/> 一括）
------	---	----	-----------	---

質問項目 城東中学校区の今後について

(答弁：市長・教育長)

私たちの城東中学校は、中小学校、土方小学校、佐東小学校の三小学校区から成り立っており、それぞれ小さな小学校ではあるが、卒業生は皆地域に誇りを持っている。今後も、私たち住民が誇れる地域であり続けるために私たちが考えた施策について、市長の考えを伺う。

- (1) 大地震に見舞われる可能性が30年以上前から高いといわれ続けており、対策を進めることは重要であると考えているが、中、土方、佐東地区の防災対策や災害発生時の避難体制は万全なのか
- (2) 地域が活性化するには学校の存在は大きいですが、城東中は教員数が減り続け、部活動顧問が満足に確保できておらず、改善が必要と考えるが、教育長の考えはいかがか
- (3) 地域を良くしていくのは私たち若い世代にも責任があると考えており、18歳になったら積極的に選挙に若者を行かせる仕組みづくりが必要と考えるが、市長の考えはいかがか

【回答の骨子】

- (1) 地域の防災力の向上や家庭の避難計画の作成を推進しています。
- (2) 教員に代わって、専門技能を持つ地域の方などに協力を仰いだりしています。
- (3) 高校での模擬投票やフェイスブックを通じた情報発信などを行っています。

～メモ～

回 答 資 料

(1) 防災対策や避難体制

家族で防災について話し合っておきましょう

- 1 家族一人ひとりの役割分担を決める
- 2 避難場所、避難経路を確認する
避難口などを利用し、東洋で避難経路などの事前確認をしておく。
- 3 家族が離ればなれになったときの連絡方法を確認する

わが家のハザードマップをつくりましょう

あなたが、家庭での防災リーダーに!!

まずは、自分がケガをしないこと。

家庭の避難計画記入例

避難場所：命を守るために避難する場所
経 路：避難経路を示すもの

避難場所	避難経路	避難方法	避難場所	避難方法
地震発生時	揺れが収まったら	○△公園	○△公園	○△公園
津波発生時	揺れが収まったら	家の裏の高台	○△公園	○△公園
土砂災害発生時	土砂災害警戒情報が発令されたら	○△公園	○△公園	○△公園
洪水発生時	避難手続情報が発令されたら	親戚○○宅	○△公園	○△公園

お年寄りや、体が不自由な人は、早めに避難。家族構成によって異なります。

避難しやすけり川の側に住んでいる場合は、早めに避難。自宅の立地条件により異なります。

（防災ガイドブック3,4ページ）

(2) 小中学校の児童生徒及び教員数の推移

(1) 小学校の児童数及び教員数 (各年度5月1日現在)										(2) 中学校の生徒数及び教員数 (各年度5月1日現在)									
区分 年度	学校数	児童数			学級数	1学級当たり の児童数	教員数			区分 年度	学校数	生徒数			学級数	1学級当たり の児童数	教員数		
		総数	男	女			計	男	女			総数	男	女			計	男	女
平成元	23	9,349	4,868	4,481	308	30.4	424	206	218	平成元	9	4,923	2,541	2,382	131	37.6	226	165	61
5	23	9,244	4,727	4,517	307	30.1	435	193	242	5	9	4,845	2,505	2,340	140	34.6	253	182	71
10	23	8,081	4,179	3,902	282	28.7	417	187	230	10	9	4,582	2,398	2,284	131	35.0	237	158	79
15	23	7,013	3,582	3,431	258	27.2	415	184	231	15	9	3,792	1,960	1,832	117	32.4	240	157	83
20	23	6,589	3,346	3,243	247	26.7	407	158	249	20	9	3,392	1,750	1,642	115	29.5	224	128	96
25	22	6,497	3,366	3,131	237	27.4	433	177	256	25	9	3,118	1,571	1,547	102	30.6	229	141	88
26	22	6,507	3,359	3,148	232	28.0	437	174	263	26	9	3,161	1,621	1,540	103	30.7	236	149	87
27	22	6,581	3,366	3,215	234	28.1	440	176	264	27	9	3,155	1,671	1,484	102	30.9	235	150	85
28	22	6,505	3,326	3,179	231	28.2	439	175	264	28	9	3,225	1,702	1,523	106	30.4	240	152	88

(3) 中学校区別の投票率

中学校区	H25市長選	H29市長選	前回比	H25県知事選	H29県知事選	前回比
掛川東	63.59	60.54	△3.05	54.47	51.10	△3.37
掛川西	60.95	58.56	△2.39	50.55	48.27	△2.28
掛川北	65.20	63.57	△1.63	55.20	52.06	△3.14
栄川	75.59	70.37	△5.22	58.29	53.77	△4.52
桜が丘	64.74	63.84	△0.90	52.36	50.28	△2.08
原野谷	73.17	69.84	△3.33	55.51	52.14	△3.37
大浜	71.11	73.98	2.87	60.55	59.43	△1.12
城東	69.79	70.05	0.26	60.39	56.93	△3.46
大須賀	67.50	68.76	1.26	57.03	54.51	△2.52
全体	66.09	64.54	△1.55	55.13	52.34	△2.79